

講演の概要

モンスターペアレントやクレーム保護者など、教育(保育)現場での保護者対応は年々困難になっています。教師の善意が通じない、子どもを注意すれば苦情の嵐、学校に非協力、子育てに無関心など、教育関係者からは切実な声が上がっています。

一方、親の側にも相応の言い分や考え方があります。学力への不安や教師への不信感は根強く、今の教育制度への不満も高まっています。教師と保護者の視点がずれ、「ボタンのかけ違い」がつつけば、事態はますます混乱していくでしょう。

親は学校に何を望んでいるのか、何がきっかけでモンスター化するのか、過剰な要求の背景に何があるのかなど、実際の取材例を紹介しながら具体的に解説します。

対象

教職員組合、教育・保育関係者研修

